

関係機関の若年層を対象とした自殺対策の取組について

	取組名	具体的な取組内容	関係機関・団体名
相談体制の拡充	子ども相談ダイヤル	24時間365日体制で相談を受け付け、子どもの家庭や学校での困りごとを聞き取ることにより、支援の必要な子ども及び家庭の早期発見に努める。 また、新型コロナウイルス等の影響により、子どもを取り巻く環境が複雑化していることも念頭に入れたうえで、より丁寧な傾聴を心がける。	明石市 (こども局明石こどもセンターこども支援課)
	教育相談事業	児童生徒や保護者の教育上の悩み、心配事に関する相談を、臨床心理士や教員OB、専門相談員等が電話を受け、必要に応じて面接を行う。	明石市 (教育委員会児童生徒支援課)
	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの学校配置	市内中学校に配置した臨床心理士資格を有するスクールカウンセラーが、児童生徒や保護者が抱える悩みを受け止め心理的な支援を行う。また、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーがさまざまな課題を抱えた子どもに対し、関係機関等とのネットワークの構築や保護者支援等により子どもが置かれた環境へ働きかけ、課題解決への対応を図る。	明石市 (教育委員会児童生徒支援課)
	産後の支援につなぐ、妊娠期からのメンタルヘルスケア	妊娠届出時面談で把握しているハイリスク妊婦において、メンタル面・経済面等の支援が必要な場合、適宜必要な相談窓口につなげる。	明石市 (こども局子育て支援室こども健康課)
	地域総合相談室業務	障害児/者を含む若年層の方が同居しているご両親や高齢者等の介護などを担っているかで、介護等に関する困りごとの相談を受け、介護や支援が必要なご家族等への適切な支援につなぐたり、介護者家族への支援について、適切な窓口に繋いだり、協働して支援を実施する。 また、メール等の方法を用いた相談窓口の設置とその窓口の周知を保健所等と図る。	明石市社会福祉協議会
	休日夜間電話法律相談	現在、特に若年層向けに特化した相談ではないが、若年層向けに広報を強化することは可能かと思われる。	兵庫県弁護士会
	○スクールカウンセラー配置事業 ・カウンセリングマインド研修(教職員対象) ・ストレスマネジメント(児童生徒対象) ・カウンセリング(児童生徒・保護者対象) ・コンサルテーション、ケース会議(教職員対象)	・カウンセリングマインド研修 夏季休業日明けの2学期始業式に児童生徒の自死が多いことから、夏季休業に入ってからすぐにSCによる研修をすべての小中学校で実施している。本年度は「死にたいとおもう子どもたちへの対応」というテーマで行った。そして、始業式前には、気になる児童生徒の家庭訪問、電話連絡等を行っている。 ・ストレスマネジメント 新型コロナウイルス感染症によるさまざまな制限のために、児童生徒たちは大変ストレスの多い生活を送っている。リストカットをする児童生徒も年々増えており、ますます重要な取組となっている。 ・カウンセリング及びコンサルテーション 厳しい社会状況の中、児童生徒はもとより、保護者にとってもストレスの多い生活の中で子育てをされている。虐待等も増え、学校だけで支援しきれないケース増えている。第3者である、SCによるカウンセリングを受けることで心が安定され子育てに向き合うことができるようになるケースが見られる。 また、児童生徒・保護者の悩みや不安を、学級担任・生徒指導担当等が共有することで、児童生徒の変化に気づき、早期の対応ができる。また、あかし子どもセンター等関係機関との連携を図っている。	明石市中学校長会
人材育成	相談業務にあたる職員に対して、自殺対策に関する研修を実施する。	明石市 (福祉局生活支援室生活福祉課)	
情報発信・啓発の強化	インターネット検索連動型広告掲載	自発的な相談につながりにくく、自殺の手段等をインターネットで検索することが多いといわれている子どもや若者への相談窓口の周知を目的として、市内で自殺に関するキーワードをインターネットで検索した際に相談窓口を表示し、相談窓口を周知。	明石市 (感染対策局あかし保健所相談支援課)
	学校に向けた周知啓発の強化	・教職員研修および児童・生徒に向けた出前講座の実施(通年)。 ・小中学校の全児童・生徒にSOGIEに関するQ&Aチラシを配布(4月) ・小中学校の全保護者に専門相談窓口チラシを配布(4月) ・ホームページにキッズページを新設(8月) ・小中学校及び明商に関連書籍を配布(8月) ・小中学校の全児童・生徒にキッズページのQRコードと相談窓口情報を掲載したカードを配布(予定) ・小中学校及び明商に研修DVDおよびレインボーフラッグを配布(予定)	明石市 (政策局SDGs推進室LGBTQ+/SOGIE施策担当)
	SNSを活用した周知啓発	LGBTQ+/SOGIE専門相談の広報においては、パブリックな場所ではチラシ等を手に取りにくい人も多いことから、個人のプライバシーを尊重しつつアプローチできるツールとしてSNSが有効である。そのため、2020年9月よりTwitterの運用を開始し、現在まで毎日投稿している。	明石市 (政策局SDGs推進室LGBTQ+/SOGIE施策担当)
	自殺予防の啓発	現状における取組(庁舎内、救急講習会場へのリーフレット設置やポスター掲示)を継続することで、より多くの若年層に広めていく。	明石市 (消防局警防課)
	自殺予防の啓発	リーフレットの設置、ポスターの掲示	明石市歯科医師会

	取組名	具体的な取組内容	関係機関・団体名
早期発見・対応	PTA活動(人権リーダー研修会)	今年度、人権リーダー研修会で「健康を考える」グループ討議を行い、保護者と子どもの健康・命の尊さについて討議を行った。	明石市連合PTA
	児童生徒の自殺予防に係る取組について通知するとともに、市内小中学校へ自殺予防研修DVDを作成、配付及び活用	文部科学省からの「児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議」審議のまとめについて市立学校に通知するとともに、自殺対策白書では、こどもの自殺が夏休み明けなど学校の長期休業明け前後の子どもの大きく変わる生活環境や学校が始まる大きなプレッシャーや精神的動揺が記述されていることを踏まえ、その対応に全教職員が視聴できるよう自殺予防のDVDを作成し、活用いただく。	明石市 (教育委員会児童生徒支援課)
	「明石市薬剤師会認定ゲートキーパー制度」の若年層を対象とした啓発活動	コミュニティセンターなど若年層が使用する各施設への当制度紹介リーフレットの設置	明石市薬剤師会
	認定ゲートキーパー薬剤師による、若年層参加イベントでの相談会実施	「あかし子ども・子育て応援メッセ」等、若年者参加イベントにてゲートキーパー薬剤師による悩み相談ブースの設置と、制度紹介ポスターの掲示。 →認定ゲートキーパー薬剤師が複数名ブースに待機し、ポスターによる来場者への認定ゲートキーパー制度の紹介や、子育てについてのお悩み相談を行う。(妊娠・授乳中のお薬相談も同時に実施可能)また、産後うつや、ゲートキーパー制度に関するメッセージパンフレットを持ち帰れるよう用意。	明石市薬剤師会
	地域での見守り、声かけ	民生委員・児童委員は、担当区域内において、子どもから高齢者まで、また、その家族への声掛けを行い、生活上の心配ごとなど様々な相談に応じるとともに、相談内容に応じて必要な支援が受けられるよう、行政や地域の専門機関とのつなぎ役になっている。また、学校・幼稚園訪問、こどもセンターやこども健康課との連絡会で、子どもと家庭の情報共有を行っている。	明石市民生児童委員協議会
	ヤングケアラー支援における早期発見と支援	ヤングケアラーの課題のある家庭は、経済的困窮や介護、疾病など、複合的な課題がありながらも孤立しており、支援が行き届いていないことが多い。また、子ども自身の生活に大きな影響が及んでいる場合でも、自らSOSの声を上げにくい現状がある。これらの状況は、自殺リスク要因の1つとなり得るものであるため、若年層への生きることの包括的な支援(自殺対策)の視点を持ちながら、ヤングケアラーの早期発見と対応に努めるとともに、こころの悩みを抱えた若年者にも対応できるような支援体制を検討する。	明石市 (地域共生社会室)
就労支援・生活支援	自殺予防の啓発・若年層の経営相談	あかし保健所から配布されるチラシを1階に設置。 経営難から相談を受けることにより、最善の方法を考える指導を行っている。	明石商工会議所
	若年者の就労支援事業	通称サポステは、働くことに踏み出したい15歳～49歳までの現在、お仕事をされていない方や就業中でない方たちと向き合い、本人やご家族の方々だけでは解決が難しい「働き出す力」を引き出し、「職場定着するまで」を全面的にバックアップしています。	あかし若者サポートステーション(一般社団法人ひょうご若者自立支援センター)
関係機関等の連携体制の構築	産後支援に向けた、医療機関連携強化	妊産婦健診、乳児健診等から医療機関が把握した母やその家族からのSOSをいち早く行政の支援につなぐことができるよう、医療機関連携の強化を図る。	明石市 (こども局子育て支援室 こども健康課)
	多職種の協働による包括的相談や地域の居場所での気づきと連携	地域総合支援センターなどへの市民からの相談において、背景に若年層者が関連する問題まで丁寧に聴き取り、適切な機関につなぐことで、若年層者の自殺対策(生きることの包括的支援)にもつなげる。また、地域の居場所において、お互いが自殺予防ゲートキーパーの視点を持ってかわかれるように周知することで、自殺のリスク要因を抱える若年層者の早期発見と早期対応につなげる。	明石市 (地域共生社会室)
	関係部署との情報共有、連携による支援	若年層をはじめ生活保護の相談や被保護世帯の面談、家庭訪問時などに、自殺を仄めかすなどのサインに気づいた際には、関係部署と情報共有を行い必要な支援につなげていく。	明石市 (福祉局生活支援室生活福祉課)